公益財団法人
加古川市国際交流協会
Kakogawa International Association

広報

2012.10
vol.22
Public Information

CONTENTS

2012年度前期 国際交流講座事業紹介	2-3
2012年度前期 国際交流海外都市交流事業紹介	4
特集 ニュージーランド・オークランド市／姉妹都市調印式	5
インフォメーション	6

上から
七夕まつり「各国料理の会食」
中学生海外派遣「学校訪問」
語学講座「英会話講座の風景」

上から
青年海外派遣「マリンガ市駒込農場のトウモロコシ畑にて」
新春茶会「鶴林寺にて」
オークランド市役所表敬訪問

講座 事業紹介

4月 鶴林寺茶会参加(4／29)

国宝鶴林寺で行われる茶会に、国際交流協会で日本語を勉強している外国人10名が参加しました。ほとんどの人が初めての体験で、厳かな雰囲気に少し緊張した様子でした。懐紙の使い方、お茶のいただき方、茶器の拝見の仕方などわからないことだらけでしたが、周りの人の見よう見まねで挑戦です。参加者の中には、「甘い和菓子と少し苦い抹茶の相性がよかったです」と本格的なコメントくれた人もいました。また、お茶をいただく前に、鶴林寺の本堂を参拝したり三重塔を見学したりと、市内にも伝統あるお寺があることを知るよい機会になりました。

4月 外国人のための日本語講座開講(4／12～)

開講19年目を迎える日本語講座が今年も開講し、9月末現在22名が学習しています。受講生の半数が中国出身で、他にベトナム、インドネシア、タイ、インド、アメリカ、チリ、ブラジルの人がいます。Aクラスの受講生は、全員が初めて日本語を学習していますが、学習意欲が高く上達が早いようです。Bクラスでは、日本語にも慣れてきて和気あいあいと学習しています。Cクラスでは、日本語が堪能な人が多く、ハイレベルな質問が飛び交います。Cクラスの受講生からは、「講座を受けて初めて、今まで自分の使っていた文法が間違っていたことに気づきました」という意見もあります。それぞれのレベルに応じたクラスで、協会ボランティア講師の指導のもと、みなさん熱心に勉強しています。また、受講生にとってこの講座は、日本語学習の場としてだけではなく、同じ教室の仲間や先生に会える楽しい空間でもあるようです。

5月 賛助会員ツアー(5／12～5／19)

今回は6名が姉妹都市ニュージーランド・オークランド市とタイ・バンコクへのツアーに参加しました。

オークランド市では、博物館やウォーターフロント計画推進地などを見学した後、加古川市姉妹都市訪問団と合流しオークランド市役所を表敬訪問しました。そして、記念すべきオークランド市との姉妹都市調印式に立ち会いました。

タイでは王宮や寺院を見学。数々の優しい顔の仏像に出会い、なんだか心が穏やかになったような気がしました。また、水上マーケットを観光し、川辺で暮らす人々の生活を垣間見たり、チャオプラヤー川を船で上りアユタヤー遺跡を巡るなど古代の神秘に触れたほか、タイの伝統舞踊などのエンターテイメントも楽しみました。

5月 語学講座開講(5／13～9／29)

今年度は、初級英会話・ベトナム語会話入門・韓国語会話入門の3講座を開講しました。

<初級英会話>

ほとんど英語のみで進められる講座に少し困惑気味だった受講生ですが、回を重ねるごとにその不安もどこへやら。耳が慣れてくると英語で講師に質問したり、隣同士で会話練習をしたりと英語での会話を楽しめるようになり、もっと話してみたいと思えるようになりました。

<ベトナム語会話入門>

発音は難しいけれど文法は比較的簡単だと言われるベトナム語。日本語にはない音の聞き分けと発音に受講生はかなり苦労していたようですが、とてもほめ上手な講師に後押しされ上達も早いようです。受講生からはせっかくなので15回と言わず継続してベトナム語を学びたいとの声も上がり、自主グループとして学習を続けることが決まりました。

<韓国語会話入門>

韓流効果もあり、語学講座の中でも人気の高い韓国語。受講生の出席率も高く講師もビックリしていました。言葉を教わるだけでなく韓国の文化や歴史など様々な話題を交えながら進む講座は、受講生にとって一つ一つが新鮮で隣の国のことを考えるよい機会にもなったようです。今後は自主グループとしてさらに韓国語を勉強していきます。

6月 ふれあいティータイム (6／3)

シャンソンの流れる中、和やかに始まったふれあいティータイムはゲストスピーカーにフランス出身のジェローム・メリュさんをお招きして、フランスの有名な地方の食文化や建造物などを写真と流暢な日本語で紹介していただきました。

参加者からはフランスの物価やファッション、そして現在注目されている原子力発電についての質問が出るなど、興味深く文化の違いを学んでいました。

7月 七夕祭り (7／8)

日本語を勉強している外国人に、日本の文化を体験する機会を提供するため七夕まつりを開きました。中には浴衣やはっぴを着て参加した人もいて雰囲気もバッチリです。まずは短冊に願い事を書いて笹に飾りました。短冊には、「日本語が上手になりますように」や「家族が健康でいられますように」という願いが日本語で上手に書かれていました。

また、参加者には自国の自慢料理を持ち寄ってもらい、食を通じての交流を行った後、「スイカ割り」や「氷の早削り」、「輪投げ」ゲームで盛り上がり、最後に全員で「炭坑節」「ビューティフルサンデー」を踊って日本の夏を楽しみました。

8月 第22回加古川市中学生海外派遣 (8／7～8／18)

市内各中学校から11名の派遣生が、姉妹都市ニュージーランド・オークランド市を訪問しました。滞在中、日中は市内の施設を見学したり、ニュージーランドにしか生息していない動植物を観察したりと、たくさんのプログラムを体験しました。そして、到着の日からいきなりホームステイの始まりです。初めて会った日は、緊張でうまく会話ができなかった派遣生もいましたが、次第に慣れ、帰る頃には「もっと長くいたい」「帰りたくない」というほど、ホストファミリーとの絆を深められました。

再会を約束しホストファミリーと別れた後、先住民族であるマオリの文化が色濃く残るロトルアへ旅行に行きました。そこでは、伝統的な生活様式を見学したり、ダンスショーに参加したり、伝統料理であるハンギ料理を食べたりと、マオリ文化を深く知る貴重な体験をしました。ホームステイやさまざまな体験、人との出会いを通じて、帰国時には、派遣生はひと回りたくましくなったように見えました。この事業で得た貴重な体験と感動を忘れず、彼らの今後の人生に生かしてくれることを期待しています。

8月 第21回青年海外派遣 (8／8～8／18)

市内の6名の青年が引率2名とともに姉妹都市ブラジル・マリンガ市を訪問しました。長いフライトを終えマリンガ空港に到着すると、ホストファミリーに笑顔で迎えられ、これから始まる4日間のホームステイが不安から期待へと変わりました。

滞在中は農協施設や郊外の農場を見学、広大なトウモロコシ畑での収穫作業を間近で見ながら、黄金色のコーンに満たされたトラックの荷台に乗って運んでもらうという初めての体験に、派遣生一同大喜びでした。また、現地のセズマール大学や福祉施設和順ホーム、加古川・マリンガ外国語センターを訪問し、日系人のお年寄りや児童たちとふれあうことができました。マリンガ市での最終日の夕食会では、お世話になった方々にマツケンサンバ2と炭坑節を披露。最後に現地の人たちも一緒になって炭坑節を歌って踊るなど、とても楽しい時間をすごしました。

名残おしくマリンガの人たちと別れた後は、クリチーバを半日観光しイグアスの滝へ。水しぶきを浴びながらも雄大な眺めに自然の迫力を感じました。リオデジャネイロでは、コルコバードの丘など市内を見学し、サンバ会場では本場のサンバ衣装を試着してサンバ気分を満喫しました。

そしてアメリカ・ニューヨークを経由し自由の女神や国連本部ビルを見学した後、日本へ帰国しました。

2012年度前期 国際交流

海外都市 交流事業紹介

5月 パラナ州日伯経済友好使節団来日(5／30)

ブラジル・パラナ州より連邦下院議員　西森弘志氏をはじめ16名の経営者が加古川市を訪問し、樽本市長を表敬訪問しました。

一行は現在修復中の姫路城と好古園を見学。新緑の美しい日本庭園でのひとときを楽しみました。その後、加古川市のウェルネスパークへ行き、ホールなど施設内を見学しました。音響のよさに定評のある音楽ホールでは、「こんなホールで一曲歌ってみたい」と団員の女性がステキな声を響かせていました。また、国宝である鶴林寺にも足を運び、本堂や三重塔などの歴史的建造物を興味深げに見て回りました。

団長の西森ブラジル連邦共和国下院議員
(写真中央)

加古川市表敬訪問

6月 マリンガ市親善使節団来日(6／4～6／6)

ブラジル・マリンガ市からシウヴィオ・バホス市長をはじめ23名が来日し、加古川市に2日間滞在されました。

一日目は姫路城の大天守修理を見学し、めったに見ることのできない天守閣の瓦の置き換え作業に一行は興味深々の様子でした。好古園でお茶席を楽しんだ後、加古川市役所を表敬訪問し、樽本市長と、来年迎える加古川市とマリンガ市の姉妹都市提携40周年について懇談が行われました。

兵庫南農協育苗センターにて

JR加古川駅北マリンガ通りにて

クリーンセンターにてゴミ処理について説明を聞く一行

二日目の午前中は加古川市のクリーンセンターと兵庫南農協を訪問しました。クリーンセンターでは施設やその機能について大いに関心をもった様子で、職員に熱心に質問する場面も見られました。また、兵庫南農協の育苗センターでは、水稲の苗に興味を示され、どのように育てているのかなど栽培方法を確認していました。その後はふぁーみんSHOPにて買物を楽しみました。SHOP内には珍しいものがたくさんあり、ここでの買い物がとりわけ気に入られたようです。

午後からは神戸市へ向かい、海外移住と文化の交流センターを見学した後、兵庫県知事を表敬訪問しました。

特集

ニュージーランド・オークランド市

オークランド市はニュージーランド北島北部に位置する人口約150万人のニュージーランド最大の都市です。北はワイテマタ湾、南はマヌカウ湾に面した港町で“シティ・オブ・セイルズ（帆の街）”という愛称で親しまれています。

街の中心部は高層ビルが立ち並ぶニュージーランド経済の中枢であり、文化発信地にもなっています。その半面、美しい海岸線をもち、周辺近海に点在する約50の島々や森林保護地などの自然が豊かに息づいており、絶滅に瀕している鳥たちが数多く生息しています。また、誰もが気軽にレジャーを楽しむことのできる環境が整っており、気候は穏やかで、生活の質、水準ともに世界最高レベルを誇っています。民族構成はマオリ族を始め多岐にわたり、多様性に富んだ文化が育まれています。

イーデン山から見るオークランド市街

市のシンボル　スカイタワー

姉妹都市提携調印式

姉妹都市提携調印式

2010年11月1日、加古川市と姉妹都市提携のあったワイタケレ市ほか周辺の7つの自治体がオークランド市に統合されました。新たなオークランド市が誕生したことで、加古川市とワイタケレ市の姉妹都市交流はオークランド市に引き継がれることになり、改めて両市は姉妹都市提携を結ぶことになりました。加古川市から樽本市長をはじめ7名が5月14日の姉妹都市提携調印式に出席するためオークランド市を訪問しました。

調印式では双方の市長が姉妹都市提携書にサインし、両市の友好関係の発展を願い固く握手を交わしました。これにより、新オークランド市との相互交流が始まり、これまでの友好関係をさらに拡大、発展することが期待されます。

国際協力セミナー　参加者募集

「国際協力とは何だろう」こんなことを考えたことのある人はどれだけいるでしょう。

グローバル化が進む中、国際協力機構（JICA）で青年海外協力隊として活躍された方の体験談を通じて、身近な国際協力について考えてみませんか。

＜日　時＞　平成24年12月9日（日）　午後2時から3時30分
＜場　所＞　加古川市国際交流センター　201号室
＜講　師＞　前田　千恵（まえだ　ちえ）氏
元青年海外協力隊「小学校教諭」
派遣先：ネパール連邦民主共和国
＜内　容＞　ネパールでの生活やボランティア活動体験談など
＜定　員＞　20名
＜参加費＞　無料
＜募　集＞　電話にて申し込み（先着順）※広報かこがわ11月号にも掲載予定です。

平成24年度後期　各種講座計画（予定）

10月　初級日本語教育ボランティア養成講座
第1回ふれあい国際料理講座（タイ料理）
11月　第2回ふれあい国際料理講座（フィンランド料理）
12月　第3回ふれあい国際料理講座（モンゴル料理）
国際協力セミナー
クリスマスパーティー
1月　初級Ⅱ日本語教育ボランティア養成講座
マリンガ市青年海外派遣団受入
2月　障がい者海外派遣

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）ボランティア募集

JICAボランティア、途上国で世界の人たちと一緒に働き、お互いの技術、知識、経験を活かして国づくりに協力しています。また、ともに暮らすことを通じて、日本との交流の橋渡し役にもなっています。

現在JICAでは、右記の要領でボランティアを募集しています。

その他相談会等も随時実施しております。詳細については、下記へお問い合わせください。

	青年海外協力隊	シニア 海外ボランティア
年　齢	20歳～39歳まで	40歳～69歳まで
応募資格	上記年齢であり日本国籍をもつ方	
募集期間	年2回（春・秋）	
派遣期間	原則として2年	原則として1年

公益社団法人　青年海外協力協会　TEL:06-6375-2224
JICAホームページ　http//www.jica.go.jp
JICA関西ボランティアページアドレスhttp//www.jica.go.jp/kansai/enterprise/volunteer/index.html

（公財）加古川市国際交流協会　〒675-0017　加古川市野口町良野387-1
TEL 079-425-1166　FAX 079-425-0200

協会活動の紹介や参加者募集のお知らせを掲載したホームページを公開しています。ぜひご覧ください。
ホームページアドレス：http://www.city.kakogawa.hyogo.jp/hp/kokusai/index.htm
E-MAIL：kia@city.kakogawa.hyogo.jp

2012年10月発行